

第3号様式（第4条関係）

市民防災組織助成申請書

年 月 日

立川市長 殿

組 織 名
住 所
代表者名 印
電話番号 — —

（自署の場合は、押印を省略できます。）

次のとおり令和 年度市民防災組織助成補助金の交付を申請します。

1 申請内容

項		目	金 額 等
1 申請額（内訳合計）			円
2 内訳	(1) 結成補助金		円
	(2) 運営費補助金	(組織割)	円
		(世帯割)	円
	(3) 市民消火隊運営費補助金		円
3 組織構成世帯数			世帯

2 添付書類 市民防災組織予算書・事業計画書（第3号様式の2）

第3号様式の2（第4条関係）

令和 年度 市民防災組織予算書・事業計画書

組織名 _____

住所 _____

代表者名 _____ 印

会計者名 _____ 印

（自署の場合は、押印を省略できます。）

1 収入

科 目	金額（円）	備 考
前年度繰越金		
市補助金		
合 計		支出の金額と同じ

注意 前年度繰越金については、生じた理由及び使途を備考欄に記載すること。

2 支出

科 目	負担区分		備 考
	市補助金（円）	その他（円）	
小 計			
合 計			収入の金額と同じ

注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う会議に使用することはできない。

3 事業計画

第9号様式（第4条の3関係）

市民防災組織助成請求書

年 月 日

立川市長 殿

組 織 名
住 所
代表者名 印

（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

次のとおり令和 年度市民防災組織助成補助金を請求します。

1 請求金額 金 円

2 振込口座

金融機関名	本支店名	種別	口座番号
		普通 当座	
フリガナ			
口座名義			

※ 口座名義人が上記の代表者と異なる場合

この補助金の受領に関しては、上記の口座名義人にその権限を委任します。

委任者 （代表者と同じ） 印

（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

第 11 号様式（第 5 条の 2 関係）

市民防災組織活動報告書

年 月 日

立川市長 殿

組 織 名
住 所
代表者名 印
(自署の場合は、押印を省略できます。)

次のとおり令和 年度市民防災組織助成補助金に係る活動内容について、報告します。

1 交付内容

項 目			金 額 等
1 交付決定額（内訳合計）			円
2 内訳	(1) 結成補助金		円
	(2) 運営費補助金	(組織割)	円
		(世帯割)	円
	(3) 市民消火隊運営費補助金		円
3 組織構成世帯数			世帯

2 添付書類 市民防災組織決算書・事業報告書（第 11 号様式の 2）

第 11 号様式の 2（第 5 条の 2 関係）

令和 年度 市民防災組織決算書・事業報告書

組織名 _____

住所 _____

代表者名 _____ 印

会計者名 _____ 印

（自署の場合は、押印を省略できます。）

1 収入

科 目	金額（円）	備 考
前年度繰越金		
市補助金		
合 計		支出の金額と同じ

注意 前年度繰越金については、生じた理由及び使途を備考欄に記載すること。

2 支出

科 目	負担区分		備 考
	市補助金（円）	その他（円）	
小 計			
合 計			収入の金額と同じ

注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う会議に使用することはできない。

3 事業報告

--

別紙

繰越金の生じた理由及び使途について

理由について

--

使途について

--

上記のとおり報告します。

年 月 日

組織名 _____

代表者 _____ 印

「200世帯」の団体 記載例

第3号様式（第4条関係）

市民防災組織助成申請書

立川市長 殿

自治会名ではなく、市民防災組織の名称を記入してください。
 ex. ○○防災対策委員会、○○防災部

代表者様のご住所を記入してください。後日、振込案内を送付しますので、ご住所は最後まで記入してください。

年月日記載不要です
 年 月 日

代表者個人名の印鑑を捺印。

組 織 名 ○○自治会防災対策委員会

住 所 ××町△丁目××番×号

代表者名 代表 立川太郎 立川

電話番号 000-0000

（自署の場合は、押印を省略できます。）

次のとおり 令和×× 年度市民防災組織助成補助金の交付を申請します。

1 申請内容

項 目		金 額 等
1 申請額（内訳合計）		（例）25,000円
2 内訳	(1) 結成補助金	—円
	(2) 運営費補助金	（組織割）（定額）15,000円
		（世帯割）（例）10,000円
	(3) 市民消防隊運営費補助金	—円
3 組織構成世帯数		（例）200世帯

2 添付書類 市民防災組織予算書・事業計画書（第3号様式の2）

組織割：15,000円（定額）
 世帯割：世帯数200世帯（例）×50円

ここは、会に加入している世帯数（4月1日現在）を記入します。
 ※
 年度当初に市民協働課に報告した世帯数と同数になります。

「200世帯」の団体 記載例

第3号様式の2（第4条関係）

代表者及び会計者個人名の
印鑑を捺印。

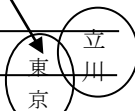
令和××年度市民防災組織予算書・事業計画書

組織名〇〇自治会防災対策委員会

住所

代表者名 立川 太郎

会計者名 東京 花子



（自署の場合は、押印を省略できます。）

1 収入

科 目	金額（円）	備 考
前年度繰越金	（例） 3, 0 0 0 円	
市補助金	（例） 2 5, 0 0 0 円	（例） 200 世帯×50 円+15,000 円
自治会補助金	（例） 3 0, 0 0 0 円	
合 計	（例） 5 8, 0 0 0 円	支出の合計金額と同額

注意 前年度繰越金については、生じた理由及び使途を備考欄に記載すること。

2 支出

科 目	負担区分		備 考
	市補助金（円）	その他（円）	
備品購入費	（例） 22,000 円	（例） 3,000 円	ヘルメット・メガホン購入
会議費		（例） 6,000 円	防災会議（3回）お茶代
訓練費	（例） 3,000 円		防災訓練お茶代
反省会		（例） 20,000 円	訓練後の反省会
		（例） 4,000 円	
小 計	（例） 25,000 円	（例） 33,000 円	
合 計	（例） 5 8, 0 0 0 円		

支出
例

収入欄「市補助金」と同額になる

収入の「前年度繰越金」と「自治会補助金」の合計と同額

「市補助金」欄には今年度のみの補助金額を記入。
前年度繰越金は、その他欄に記入。

「予備費」はその他欄に記入。
「市補助金」はあくまでも支出予定の金額。

注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う金

3 事業計画

△月 第1回防災会議
△月 第2回防災会議
△月 防災訓練・炊き出し訓練
△月 〇〇支部地域防災訓練
△月 第3回防災会議
△月 歳末夜間警戒

防犯防災に係
る事業を列記

「200世帯」の団体 記載例

第9号様式（第4条の3関係）

市民防災組織助成請求書

請求書の金額修正は、訂正印対応でも不可です。金額修正の場合は、立川市ホームページから様式をダウンロードいただくか、防災課窓口で新しい用紙をもらってください。

年月日の記載は不要です

年 月 日

組 織 名 ○○自治会防災対策委員会

住 所 ××町△丁目××番×号

代表者名 代表 立川太郎

立川

（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

次のとおり 令和×× 年度市民防災組織助成補助金を請求します。

代表者個人
名の印鑑を
捺印。

1 請求金額 金 (例) 25,000 円

2 振込口座

どちらかに○

金融機関名	本支店名	種別	口座番号
立川市民銀行	泉町支店	普通 当座	1 2 3 4 5 6 7 8 9
フリガナ	バツバツジチカイ カイケイ トウキョウハナコ		
口座名義	××自治会 会計 東京 花子		

個人名口座には振込み不可です。
必ず自治会名等の団体名口座を指定ください。

※ 口座名義人が上記の代表者と異なる場合

この補助金の受領に関しては、上記の口座名義人にその権限を委任します。

委任者 （代表者と同じ） 立川 太郎 立川 印
（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

代表者「立川」と振込口座名義「会計東京花子」のように、
振込先口座名義が異なる場合のみ、この項を利用することになります。
この場合、代表者が許可（委任）を出す形で、自署又は代表者の個人印を押印
します。

「200世帯」の団体 記載例

第11号様式（第5条の2関係）

市民防災組織活動報告書

年月日の記載は不要です

年 月 日

立川市長 殿

組 織 名 ○○自治会防災対策委員会

住 所 ××町△丁目××番×号

代表者名 代表 立川太郎

（自署の場合は、押印を省略できます。）

代表者個人
名の印鑑を
捺印。

立
川

前年度の申請がなかった場合は、最
後の年度の申請内容をご記入くだ
さい。

次のとおり 令和〇〇年度市民防災組織助成補助金にかかる活動内容について、報告します。

1 交付内容

項 目		金 額 等
1 交付決定額（内訳合計）		（例）25,000円
2 内訳	(1) 結成補助金	
	(2) 運営費補助金	(組織割) (定額) 15,000円
		(世帯割) (例) 10,000円
	(3) 市民消防隊運営費補助金	
3 組織構成世帯数		（例）200世帯

2 添付書類 市民防災組織決算書・事業報告書（第11号様式の2）

前年度補助金支給額
と同額になります。

組織割：15,000円（定額）
世帯割：世帯数×50円

「200世帯」の団体 記載例

第11号様式の2（第5条の2関係）

令和〇〇年度市民防災組織決算書・事業報告書

組織名〇〇自治会防災対策委員会

住所 立川

代表者名 立川 太郎

会計者名 東京 花子 東京

1 収入

（自署の場合は、押印を省略できます。）

科 目	金 額（円）	備 考
前年度繰越金	（例） 5, 0 0 0 円	
市補助金	（例） 2 5, 0 0 0 円	200 世帯 × 50 円 + 15, 000 円
自治会補助金	（例） 2 0, 0 0 0 円	
合 計	（例） 5 0, 0 0 0 円	収入の合計金額と同額

注意 前年度繰越金については、生じた理由及び使途を備考欄に記載すること。

2 支出

科 目	負担区分		備 考
	市補助金（円）	その他（円）	
備品購入費	（例） 20, 000 円	（例） 2, 000 円	ヘルメット・腕章購入
会議費	（例） 5, 000 円		防災会議（2回）
反省会		（例） 20, 000 円	訓練後の反省会
繰越金		（例） 3, 000 円	
小 計	（例） 25, 000 円	（例） 25, 000 円	
合 計	（例） 50. 000 円		収入の合計金額と同じ

収入欄「市補助金」と同額

収入欄「前年度繰越金」と「自治会補助金」の合計と同額

支出例

注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う会議に使用することはできない。

3 事業報告

△月 第1回防災会議
△月 〇〇支部地域防災訓練
△月 防災訓練（雨天中止）
△月 第2回防災会議
△月 歳末夜間警戒

文例

別紙

繰越金がなければ、提出不要です。
※前年度からの補助金を今年度に繰越し、且つその額が前年度補助金額を上回る場合に限り提出。

繰越金の生じた理由及び使途について

理由

万が一の災害に備えて、組織として資機材を備蓄するため。

使途

- ・ 万が一の災害に備えて、非常食の購入や、その他備品購入にあてる
- ・ ○○を購入する

上記のとおり報告します。

××年××月××日

組織名 ○○自治会 防災対策委員会

代表者 ○ ○ ○ ○ (印)

市民防災組織運営費補助申請から支給まで

【1】 市役所より通知

防災課より運営費補助についての案内文書と申請書類一式が、市民防災組織の代表者に届きます。

（新年度代表者が不明の場合、旧年度代表者もしくは自治会長宛に送付していますのでご了承ください。）

【2】 申請書類一式の提出

申請書類に必要な事項を記入・押印していただき、期日までに防災課までご提出ください。
＜提出書類＞

- ・第3号様式「市民防災組織助成申請書」
- ・第3号様式の2「市民防災組織予算書・事業計画書」
- ・第9号様式「市民防災組織助成請求書」
- ・第11号様式「市民防災組織活動報告書」
- ・第11号様式の2「市民防災組織決算書・事業報告書」
- ・繰越金の生じた理由及び使途について

※前年度からの補助金を今年度に繰越し、かつ、その額が前年度補助金額を上回る場合に限り、提出

【3】 運営費補助支給決定通知

防災課より運営補助金の支給が決定したことの通知文書が代表者宛に届きます。

【4】 運営費補助振込

通知到着2～3週間後、ご指定口座に運営費補助が振込まれます。

立川市危機管理対策室防災課

TEL 042-523-2111（内 2531）

FAX 042-538-4333

MAIL bousai-t@city.tachikawa.lg.jp